

## 議題提案書

【 】協議事項

【○】報告事項

議題名：OECD統計「市民社会組織への、および市民社会組織を通じたODA」増額に向けて

### 【提案者氏名、所属】

氏名：堀内 葵

所属：(特活)国際協力NGOセンター

### 【議題提案の背景】

かねてより JANIC と交流のある台湾のネットワーク NGO である「台湾エイド（台湾海外援助発展連盟 / Taiwan Alliance in International Development / Taiwan AID）」より、「Workshop on Strengthening and Redefining Taiwan's ODA in Southeast and South Asia」と題すワークショップへの出席を依頼され、議題提案者が「日本のODAに対して JANIC が果たしている役割」について講演した。日本のODAの概要（金額、GDP比、CSOを通じた割合、特徴など）を紹介したのち、ODAとNGOの関わりについて4つの特徴を紹介し、直近の成果であるN連一般管理費増額を説明した。

日本のODAとNGOの関わりの4つの特徴とは、

1. 資金提供=N連、JICA草の根、JPFなど
2. NGOの能力強化支援=NGO活動環境整備支援事業
3. NGOとの対話=NGO・外務省定期協議会、NGO-JICA協議会、GII/IDI懇談会、NGO・財務省協議、NGO・環境省対話、
4. より密接な連携=SDGs対話、G20サミット、市民社会スペース、NPO議連など

である。

他の登壇者は、韓国・延世大学校の研究者、台湾政府の外郭団体としてODA案件を形成している国際合作発展基金会（International Cooperation and Development Fund）、台湾の内閣府に相当する行政院（Office of Trade Negotiation Executive Yuan）、シンガポール政府通商部（Singapore Trade Office in Taipei）、台湾エイド、台湾アジア交流基金（Taiwan-Asia Exchange Foundation）などである。

「Workshop on Strengthening and Redefining Taiwan's ODA in Southeast and South Asia」  
概要

■日時：2019年5月24日（金）9:00-12:30

■場所：台湾・台北市、外交部（外務省）外交及国際事務学院（Institute of Diplomacy and International Affairs, Ministry of Foreign Affairs） ※非公開会合

■主催：台湾アジア交流基金会（臺灣亞州交流基金會 / Taiwan-Asia Exchange Foundation / TAEF）、台湾エイド（台湾海外援助発展連盟 / Taiwan Alliance in International Development / Taiwan AID）

■主な参加者：台湾外交部（外務省）関係者、NGOスタッフ 計40名（※非公開会合）

2019年7月18日

NGO・外務省定期協議会 2019年度「第1回連携推進委員会」  
配布資料

【議題論点】（連携推進委員会で議論したい点）

ワークショップで論点となったのは、OECDが発表している「市民社会組織への、または市民社会組織を通じたODA」の金額および比率が日本、韓国ともに低く、台湾も同じ状況である、という点である。この金額および比率をOECD加盟国平均に近づけるために、NGO・外務省双方ができることを検討したい。

【出席を希望する外務省部局または担当者】

（参考）外務省 組織案内 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/honsho/sosiki/>

外務省民間援助連携室

以上